

令和 5 年 6 月 7 日現在

機関番号：37101

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2019～2022

課題番号：19K00383

研究課題名(和文) 日本所蔵『西廂記』孤本の調査と研究 李卓吾批評本を中心に

研究課題名(英文) A Study of a Unique Copy of "Xixiangji" Owned by Japan

研究代表者

黄 冬柏 (HUANG, DONGBAI)

九州共立大学・経済学部・教授

研究者番号：70315026

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 900,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、日本に所蔵されている『西廂記』孤本のうち、三種の李卓吾批評『西廂記』刊本の特徴とその日本に伝わった歴史的な背景について調査と研究を行うものである。国内の宮内庁書陵部に収める容与堂刊『李卓吾先生批評北西廂記』、天理大学図書館に収める三槐堂刊『李卓吾先生批評西廂記』と游敬泉刊『李卓吾批評合像北西廂記』の実見調査を実施し、中国の関連文献の蒐集考察を加えることによって、これらの三種孤本の形式と内容の特徴を明らかにしたと同時に、日本に伝来された経緯についても検討した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究は、三種の李卓吾批評『西廂記』孤本の実見調査を通して、明刊本『西廂記』の刊行と日本への伝来及びその受容という角度から、『西廂記』研究に新たな知見を導き出そうとするものである。中国では見ることのできない『西廂記』孤本の特徴を明らかにし、また、日本であまり知られていない、『西廂記』の刊行地にある刊行者や刊行と伝播に関する資料を発掘することによって、今後の日本と中国における『西廂記』研究に新たな一石を投じる重要な役割を果たせると同時に、近世の日中文化交流という視点においても、大いに有益な成果をもたらすことができる。

研究成果の概要(英文)：This study investigates and researches the characteristics and historical background of the three types of 'Li-Zhuowu' (李卓吾)'s Critical Editions of the "Xixiangji" (西廂記) among the isolated editions of the "Xixiangji" (西廂記) in Japan and their transmission to Japan.

We conducted a survey of "Mr. Li-Zhuowu's Criticism of the Beixixiangji (李卓吾先生批評北西廂記)" published by Rongyutang (容與堂) in the Imperial Household Agency's Kunaicho Shoryobu, "Mr. Li-Zhuowu's Criticism of the Xixiangji (李卓吾先生批評西廂記)" published by Sanhuaitang (三槐堂) in the Tenri University Library, and "Li-Zhuowu's Criticism of the Hexiang Xixiangji (李卓吾批評合像北西廂記)" by You Jingquan, and clarified the form and content characteristics of these three isolated books by collecting related Chinese documents and discussing them. At the same time, we also examined how they were introduced to Japan.

研究分野：中国文学

キーワード：西廂記 元雜劇 明刊本 書誌学 李卓吾 游敬泉 塩谷温 千葉鉞蔵

## 1. 研究開始当初の背景

(1) 『西廂記』の研究は、主に元雜劇『西廂記』の作者考証、版本流変、内容鑑賞、人物分析や、元雜劇と諸宮調との比較研究、さらには『西廂記』の現代京劇と地方劇の改編などの問題をめぐって数多くの考察がなされ、多大な成果を挙げてきたが、まだ研究すべき課題も多く残されている。中国においては、伏滌修の『西廂記接受史研究』(黄山書社、2008年)は、明清時代における『西廂記』の受容状況を詳細に考察しているが、日本に所蔵されている『西廂記』刊本とその受容状況を全く触れていない。また、黄仕忠の「日本所蔵『西廂記』版本知見録」(『戯曲文献研究叢稿』所収、国家出版社、2006年)には、日本に所蔵されている『西廂記』版本を調査したが、各々版本の簡単な紹介にとどまり、具体的な考証を施していない。中国で『西廂記』版本研究の第一人者である蒋星煜は、日本所蔵の李卓吾批評『西廂記』本の存在と研究の価値を認めたものの(『西廂記的文献学研究』99頁、上海古籍出版社、1997年) 今日まで管見の及ぶ限りにおいて、未だに詳細な考証を実施していない。日本においても、近年に『三国志演義』や『水滸伝』・『西遊記』の刊本研究は数多くの成果を挙げている一方、『西廂記』刊本は盛んに研究されているとは言えない。李卓吾批評本についても、「『李卓吾先生批評西遊記』の版本について」(上原究一『日本中国学会報』第62集、2011年)と「『李卓吾先生批評三国志』について」(中川諭『三国志研究』第11号、2016年)などの論考は発表されているが、『李卓吾先生批評西廂記』についての論文は見当たらない。

(2) 申請者は、『西廂記』の変遷の歴史を取り組んでおり、また日本所蔵『西廂記』孤本の調査と研究を行っているが、日中両国にある『西廂記』に関する研究資料がまだ生かされきれていないと痛感する。そこで本研究は、先学の優れた研究成果に基づきつつ、三種の李卓吾批評『西廂記』孤本の実見調査を通して、明刊本『西廂記』の刊行と日本への伝来及びその受容という角度から、『西廂記』研究に新たな知見を導き出そうとするものである。

## 2. 研究の目的

(1) 本研究課題で取り上げる「日本所蔵『西廂記』孤本の調査と研究 李卓吾批評本を中心に」とは、日本に所蔵されている『西廂記』孤本のうち、三種の李卓吾批評『西廂記』刊本の特徴とその日本に伝わった歴史的な背景について調査と研究を行うものである。

(2) 本研究の目的は、宮内庁書陵部に収める容与堂刊『李卓吾先生批評北西廂記』、天理大学図書館に収める三槐堂刊『李卓吾先生批評西廂記』と游敬泉刊『李卓吾批評合像北西廂記』の実見調査を実施し、中国の関連文献の蒐集考察を加えることによって、これらの刊本の形式と内容の特徴を明らかにすると同時に、日本に伝来された経緯とその受容状況について究明することである。

## 3. 研究の方法

(1) 宮内庁書陵部に所蔵されている容与堂より刊行された『李卓吾先生批評北西廂記』は、現存する李卓吾批評本の中で最も古くて影響も大きい刊本である。2020年2月上旬に宮内庁書陵部にてその原本を実見・複写した上で、本文・評語及び挿絵などを確認しながら、他の李卓吾批評本との比較考察を通して、該刊本の特徴を明らかにした。また、この刊本の旧蔵である徳山毛利家についても調査し、近世日本における中国古典の受容という視点から、当時の伝来の経路や方法及び受容の実態を探った。

(2) 天理大学図書館所蔵の三槐堂刊『李卓吾先生批評西廂記』と游敬泉刊『李卓吾批評合像

『北西廂記』は、管見の及ぶ限りにおいて、まだ詳細な考証が実施されていない。本研究は天理大学図書館へ赴いてこの二種の刊本を確認しながら、神田喜一郎の蔵本『北西廂記』及び中国国家図書館所蔵の同系統の諸本と比較検討して、個々の特徴とその価値を明らかにした。また、旧蔵者である千葉鉞蔵・塩谷温についても、その関連文献を精査することで、当時の漢籍入手の経緯とその受容の実態を辿ってみた。

(3) 新型コロナウイルス感染症による行動制限を緩和された2023年3月に上海と杭州へ赴いて、研究対象である関連刊本の調査を実施した。上海図書館においては、容与堂刊の『李卓吾先生批評北西廂記』全本と残本を複写し、杭州市にある浙江省図書館においても、『李卓吾先生批評北西廂記真本』などの関連刊本を確認した上、改めて宮内庁書陵部に所蔵する『李卓吾先生批評北西廂記』との比較考察を行い、各刊本の版式や表現の異同を解明した。

#### 4. 研究成果

(1) 宮内庁書陵部所蔵の『李卓吾先生批評北西廂記』について、宮内庁書陵部にてその原本を実見・複写した上で、本文・評語及び挿絵などを確認しながら、他の李卓吾批評本との比較考察を通して、該刊本の特徴を明らかにした。調査研究の成果として、「宮内庁所蔵の『李卓吾先生批評北西廂記』について」と題して、2020年度九州中国学会にて研究発表を行ない、また、「日本宮内廳藏《李卓吾先生批評北西廂記》考略」というタイトルで第四届世界漢学論壇にて発表した後、それぞれ論文をまとめて公刊した。

(2) 天理大学図書館所蔵の三槐堂刊『李卓吾先生批評西廂記』について、天理大学図書館へ赴いてこの刊本を精査分析した上で、同系統の諸本と比較検討して個々の特徴を明らかにした。調査研究の成果として、「天理図書館所蔵の『西廂記』孤本について」と題して、九州大学にて研究発表を行った後、論文をまとめて公刊した。また、「日本天理圖書館藏《重校北西廂記》考略」というタイトルで第六届世界漢学論壇にて論文をまとめて発表した。

(3) 天理大学図書館所蔵の游敬泉刊『李卓吾批評合像北西廂記』について、本研究はこの刊本を精査した上で、内閣文庫所蔵の継志齋刊『重校北西廂記』及び天理大学図書館所蔵の起鳳館刊『元本出相北西廂記』との比較考察を通して、三種刊本の伝承関係を究明したと同時に、游敬泉刊の特徴とその価値を明らかにした。調査研究の成果として、「游敬泉刊『李卓吾批評合像北西廂記』について」と題して、九州中国学会にて研究発表を行った。また、「著名漢學家塩谷温舊藏孤本《李卓吾批評合像北西廂記》考略」というタイトルで第二十一届中国古代小説戲曲文献及数字化国際研討会にて論文をまとめて発表した。

研究期間全体を通じて実施した研究の成果としては、成簣堂文庫所蔵の『新刻考正古本大字出像釈義北西廂』と宮内庁書陵部所蔵の『李卓吾先生批評北西廂記』及び天理大学図書館所蔵の三槐堂刊『李卓吾先生批評西廂記』・游敬泉刊『李卓吾批評合像北西廂記』について、投稿した論文は国内と中国の学術誌に掲載した。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者には下線を引く)

[雑誌論文](計11件)

黄冬柏、成簣堂文庫所蔵の少山堂本『西廂記』考、『九州中国学会報』第57巻、査読有、2019年、pp.31-45

黄冬柏、試論宋代西廂故事的流伝、『中国学研究』(復旦大学中国学研究中心)第19輯、査読

有、2019年、pp.34-45

黄冬柏、日本成篁堂文庫藏《西廂記》孤本考、『國際漢学研究通訊』(北京大學出版社)第18期、查読有、2019年、pp.33-55

黄冬柏、日蔵『西廂記』孤本考 以少山堂本・忠正堂本為中心、『2019年第十八屆中国古代小説戲曲文獻暨數字化國際研討會論文集』、查読有、2019年、pp.312-319

黄冬柏、内閣文庫所蔵の『重校北西廂記』考、『中国文学論集』(九州大学中国文学会)第48号、查読有、2019年、pp.55-70

黄冬柏、日本宮内廳藏《李卓吾先生批評北西廂記》考略、『第四屆世界漢學論壇會議論文集』、查読有、2020年、pp.149-159

黄冬柏、日本所蔵の漢籍に関する一考察 『西廂記』の孤本をめぐって、『九州共立大学研究紀要』第57巻第1号、查読有、2020年、pp.11-22

黄冬柏、宮内庁書陵部所蔵の容与堂本『西廂記』考、『九州中国学会報』第59巻、查読有、2021年、pp.46-60

黄冬柏、天理図書館所蔵の三槐堂本『西廂記』考、『中国文学論集』(九州大学中国文学会)第50号、查読有、2021年、pp.115-129

黄冬柏、日本天理圖書館藏《重校北西廂記》考略、『第六屆世界漢學論壇會議論文集』、查読有、2022年、pp.202-213

黄冬柏、著名漢學家塩谷温舊藏孤本《李卓吾批評合像北西廂記》考略、『2022年第二十一屆中国古代小説戲曲文獻暨數字化國際研討會論文集』、查読有、2022年、pp.239-247

[学会発表](計8件)

黄冬柏、日蔵『西廂記』孤本考 以少山堂本・忠正堂本為中心、第十八屆中国古代小説戲曲文獻暨數字化國際研討會、2019年

黄冬柏、『重校北西廂記』版本系統について、九州大学中国文学会、2019年

黄冬柏、宮内庁所蔵の『李卓吾先生批評北西廂記』について、第68回九州中国学会、2020年

黄冬柏、日本宮内廳藏『李卓吾先生批評北西廂記』考略、第四屆世界漢學論壇(國際学会)、2020年

黄冬柏、天理図書館所蔵の『西廂記』孤本について、九州大学中国文学会、2021年

黄冬柏、游敬泉刊『李卓吾批評合像北西廂記』について、第70回九州中国学会、2022年

黄冬柏、日本天理圖書館藏《重校北西廂記》考略、第六屆世界漢學論壇(國際学会)、2022年

黄冬柏、著名漢學家塩谷温舊藏孤本《李卓吾批評合像北西廂記》考略、第二十一屆中国古代小説戲曲文獻暨數字化國際研討會、2022年

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計11件（うち査読付論文 11件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 5件）

1. 著者名 黄 冬柏	4. 巻 59
2. 論文標題 宮内庁書陵部所蔵の容与堂本『西廂記』考－中国国家図書館蔵本との比較考察－	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 九州中国学会報	6. 最初と最後の頁 46-60
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 黄 冬柏	4. 巻 48
2. 論文標題 天理図書館所蔵の三槐堂本『西廂記』考	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 中国文学論集(九州大学)	6. 最初と最後の頁 115-129
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 黄 冬柏	4. 巻 4
2. 論文標題 日本宮内廳蔵『李卓吾先生批評北西廂記』考略	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 第四屆世界漢学論壇會議論文集	6. 最初と最後の頁 149-159
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 黄 冬柏	4. 巻 第11巻第1号
2. 論文標題 日本所蔵の漢籍に関する一考察 『西廂記』の孤本をめぐって	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 九州共立大学研究紀要	6. 最初と最後の頁 11-22
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 黄 冬柏	4. 巻 57
2. 論文標題 成賞堂文庫所蔵の少山堂『西廂記』考	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 九州中国学会報	6. 最初と最後の頁 31-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 黄 冬柏	4. 巻 18
2. 論文標題 日蔵《西廂記》孤本考 以少山堂本和忠正堂本為中心	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 2019年第十九届中国古代小説戲曲文献暨数字化国際學術検討会論文集	6. 最初と最後の頁 312-319
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 黄 冬柏	4. 巻 48
2. 論文標題 内閣文庫所蔵の『重校北西廂記』考	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 中国文学論集(九州大学)	6. 最初と最後の頁 55-70
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 黄 冬柏	4. 巻 18
2. 論文標題 日本成賞堂文庫蔵孤本《西廂記》再考	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 国際漢学研究通訊 (北京大学)	6. 最初と最後の頁 33-55
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 黄 冬柏	4. 巻 第19輯
2. 論文標題 試論宋代西廂故事的流传	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『中国学研究』（復旦大学中国学研究中心）	6. 最初と最後の頁 34-45
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 黄 冬柏	4. 巻 6
2. 論文標題 日本天理圖書館藏《重校北西廂記》考略	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 第六屆世界漢学論壇會議論文集	6. 最初と最後の頁 202-213
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 黄 冬柏	4. 巻 21
2. 論文標題 著名漢學家塩谷温舊藏孤本《李卓吾批評合像北西廂記》考略	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 2022年第二十一届中国古代小説戲曲文献暨数字化国際研討会論文集	6. 最初と最後の頁 239-247
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計8件（うち招待講演 0件／うち国際学会 4件）

1. 発表者名 黄 冬柏
2. 発表標題 天理図書館所蔵の『西廂記』孤本について
3. 学会等名 第316回中国文芸座談会（九州大学）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 黄 冬柏
2. 発表標題 游敬泉刊『李卓吾批評合像北西廂記』について
3. 学会等名 第70回九州中国学会大会（オンライン）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 黄 冬柏
2. 発表標題 日本宮内廳藏『李卓吾先生批評北西廂記』考略
3. 学会等名 第四屆世界漢学論壇（國際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 黄 冬柏
2. 発表標題 宮内庁所蔵の『李卓吾先生批評北西廂記』について
3. 学会等名 第68回九州中国学会大会（オンライン）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 黄 冬柏
2. 発表標題 日藏《西廂記》孤本考 以少山堂本和忠正堂本為中心
3. 学会等名 第十九屆中国古代小説・戯曲文献暨数字化國際學術檢討会（國際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 黄 冬柏
2. 発表標題 『重校北西廂記』版本系統について
3. 学会等名 九州大学中国文学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 黄 冬柏
2. 発表標題 日本天理圖書館藏《重校北西廂記》考略
3. 学会等名 第六屆世界漢學論壇（國際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 黄 冬柏
2. 発表標題 著名漢學家塩谷温舊藏孤本《李卓吾批評合像北西廂記》考略
3. 学会等名 第二十一屆中国古代小説戲曲文献暨数字化國際研討会（國際学会）
4. 発表年 2022年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------	---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------